



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東  
コード番号 3928 URL <https://mynet.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 農  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 西村 拓也 TEL 03-6864-4221  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,003	△5.9	△101	—	△115	—	△126	—
2025年12月期第1四半期	2,130	△13.2	147	△1.5	114	△22.9	96	△37.7

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △141百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 101百万円 (△39.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△14.81	—
2025年12月期第1四半期	11.46	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2025年12月期第1四半期は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2026年12月期第1四半期は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,571	1,382	30.2
2025年12月期	4,688	1,521	32.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,382百万円 2025年12月期 1,489百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期（累計）	9,000	20.3	390	4.1	345	11.9	285	24.9	33.32

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規一社 除外一社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	8,710,334株	2025年12月期	8,710,334株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	157,973株	2025年12月期	157,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	8,552,361株	2025年12月期1Q	8,452,361株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの主たる事業領域である国内モバイルゲームの市場規模は約1兆6,634億円の規模を誇り、依然として国内ゲームコンテンツ市場の中心として巨大な規模を有しております（ファミ通モバイルゲーム白書2026より）。

このような市場環境の中、当社グループは売上成長構造を再構築・再強化し、企業としての持続的な成長性を高めるべく、既存のゲーム運営基盤を活かしつつ、スポーツコンテンツ領域や開発ソリューション領域といった「重点成長領域」の拡大に注力しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,003,976千円（前年同期比126,270千円減）、営業損失は101,279千円（前年同期比248,707千円減）、経常損失は115,141千円（前年同期比229,955千円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は126,684千円（前年同期比223,553千円減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ゲーム事業セグメント

当セグメントにはゲーム事業の「セカンダリー領域」「開発ソリューション領域」「人材マッチング領域」、新規事業の「スポーツコンテンツ領域」が含まれます。

当連結会計期間の「セカンダリー領域」においては、既存タイトルの長期的かつ安定的な運営に注力した結果、好調に推移しました。また、新たな収益の柱として育成中の「開発ソリューション領域」「人材マッチング領域」においては、当社が培ってきたタイトル運営や企画・開発の専門ノウハウを活かし、多種多様な企画開発ニーズに対するソリューションの提供や、パートナー企業のタイトル運営チームへ専門性の高い人材を提供するサービスを展開しております。当連結会計期間においても、顧客企業のニーズを的確に捉えた支援実績が着実に積み上がり、順調に事業規模を拡大しました。

新規事業の「スポーツコンテンツ領域」においては、公益社団法人 日本プロサッカーリーグ（本社：東京都千代田区、チェアマン：野々村 芳和、以下「Jリーグ」）とのサポーティングカンパニー契約に基づき、1月にJリーグ公式のトレーディングカード×ファンタジーゲーム『J.LEAGUE FANTASY CARD』の開発・運営を開始しました。新規登録者は11万人を突破し、実際の試合会場でリアルカードを配布する等の施策を通じて、ファンコミュニティの活性化に寄与しております。

以上の結果、売上高は1,734,538千円（前年同期比240千円減）、営業損失は118,052千円（前年同期比249千円減）となりました。

#### ②異業種事業セグメント

当セグメントには新規事業の「異業種領域」が含まれます。

前連結会計年度に構築した、戦略策定から実行支援までをワンストップで提供する体制を基盤として、既存顧客の深耕および新規顧客の開拓に注力いたしました。主力の戦略コンサルティング事業が堅調に推移したことに加え、機材やソフトウェアの導入・設定を担うキッキングBPOサービスの稼働も本格化し、多様化する顧客ニーズを的確に取り込んでおります。

以上の結果、売上高は269,437千円（前年同期比114千円増）、営業利益は16,772千円（前年同期比1千円増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### ① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて117,804千円減少し、4,571,073千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の増加（前連結会計年度末比115,105千円の増加）などがあったことによるものであります。

#### ② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて20,867千円増加し、3,188,584千円となりました。これは主に、未払金の増加（前連結会計年度末比104,070千円の増加）などがあったことによるものであります。

#### ③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて138,672千円減少し、1,382,489千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比126,684千円の減少）などがあったことによるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,372,984	2,096,087
売掛金及び契約資産	960,795	1,075,900
未収入金	28,373	20,318
未収還付法人税等	9,423	7,818
その他	182,619	170,486
貸倒引当金	△30,000	△30,000
流動資産合計	3,524,195	3,340,612
固定資産		
有形固定資産	15,621	14,773
無形固定資産		
のれん	97,816	88,924
ソフトウェア	—	525,531
ソフトウェア仮勘定	590,175	48,194
その他	63	—
無形固定資産合計	688,055	662,650
投資その他の資産		
投資有価証券	211,006	182,831
敷金	44,941	44,941
長期前払費用	18,333	137,069
繰延税金資産	186,575	188,044
その他	149	149
投資その他の資産合計	461,006	553,036
固定資産合計	1,164,683	1,230,461
資産合計	4,688,878	4,571,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,397	297,485
未払金	396,844	500,915
契約負債	88,647	70,068
短期借入金	33,600	—
1年内返済予定の長期借入金	725,392	761,992
1年内償還予定の社債	290,000	240,000
未払法人税等	22,423	16,046
賞与引当金	85,794	32,507
その他	196,116	259,513
流動負債合計	2,046,215	2,178,528
固定負債		
長期借入金	708,126	647,962
社債	390,000	345,000
繰延税金負債	23,375	17,093
固定負債合計	1,121,501	1,010,055
負債合計	3,167,717	3,188,584
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	49,631	49,631
資本剰余金	1,270,086	1,270,086
利益剰余金	230,861	104,177
自己株式	△55,094	△55,094
株主資本合計	1,495,485	1,368,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,676	13,688
その他の包括利益累計額合計	25,676	13,688
純資産合計	1,521,161	1,382,489
負債純資産合計	4,688,878	4,571,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,130,246	2,003,976
売上原価	1,167,602	1,231,115
売上総利益	962,644	772,860
販売費及び一般管理費	815,216	874,139
営業利益又は営業損失(△)	147,428	△101,279
営業外収益		
受取利息	989	2,370
為替差益	—	1,743
その他	479	—
営業外収益合計	1,469	4,113
営業外費用		
支払利息	6,540	7,427
為替差損	4,546	—
社債利息	2,370	1,623
投資事業組合運用損	19,377	8,925
その他	1,250	—
営業外費用合計	34,084	17,976
経常利益又は経常損失(△)	114,812	△115,141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	114,812	△115,141
法人税、住民税及び事業税	11,827	12,954
法人税等調整額	1,659	△1,411
法人税等合計	13,486	11,542
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,326	△126,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,457	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	96,868	△126,684

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,326	△126,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△15,144
その他の包括利益合計	—	△15,144
四半期包括利益	101,326	△141,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,868	△141,828
非支配株主に係る四半期包括利益	4,457	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ゲーム事業	異業種事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,974,476	155,770	2,130,246	—	2,130,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,995	—	26,995	△26,995	—
計	2,001,471	155,770	2,157,241	△26,995	2,130,246
セグメント利益	131,436	15,991	147,428	—	147,428

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ゲーム事業	異業種事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,734,538	269,437	2,003,976	—	2,003,976
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,256	—	2,256	△2,256	—
計	1,736,794	269,437	2,006,232	△2,256	2,003,976
セグメント利益又は損失(△)	△118,052	16,772	△101,279	—	△101,279

(注) セグメント利益及び損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,100千円	55,140千円
のれんの償却額	8,892千円	8,892千円

## (重要な後発事象の注記)

## (資本金及び資本準備金の減少)

当社は、2026年3月26日開催の第20期定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少について承認可決され、2026年4月1日にその効力が発生しております。

## 1. 資本金及び資本準備金の額の減少の目的

当社は、資本政策の機動性及び柔軟性を確保し、企業価値の向上を図ることを目的として、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少させ、その全額をその他資本剰余金へ振り替えいたしました。

## 2. 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少させ、その同額をその他資本剰余金へ振り替えいたしました。

## (1) 減少した資本金及び資本準備金の額

資本金：39,631,488円

資本準備金：1,390,438,712円

## (2) 増加したその他資本剰余金の額

その他資本剰余金：1,430,070,200円

## 3. 本件の日程

- (1) 取締役会決議日：2026年2月24日
- (2) 債務者異議申述公告日：2026年2月24日
- (3) 債権者異議申述最終期日：2026年3月24日
- (4) 株主総会決議日：2026年3月26日
- (5) 効力発生日：2026年4月1日

## 4. 今後の見通し

本件は、貸借対照表の「純資産の部」における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はなく、業績に与える影響もございません。

## (会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。